

## 研究主題 新たな学習指導要領の実施に向けた、科目間相互の連携と史・資料や図版等を活用した授業の工夫

### I 団体の概要

本研究会は東京都で歴史教育に携わる学校教職員で組織され、会員相互の歴史教育研究を通じて、生徒並びに社会一般の人々に歴史の見方・考え方を正しく理解させ、以て社会の発展に貢献することを目的としている。主な活動として、大学教授等を招いた講演会。年3回にわたる授業研究会。博学連携など、新しい指導法の確立に向けた教科指導法研究会。大学入試問題検討委員会。年2回都内近郊を中心とした史跡見学を実施している。また、全国歴史教育研究協議会、関東歴史教育研究協議会などの研究会との連携を図りながら、全国の歴史教育に携わる方々と交流を深め、生徒にとってより良い歴史教育を行うことができるように日々研鑽と情報発信を行っている。

### II 講演会

5月に行われた講演会では、学習院女子大学教授の武井彩佳氏による講演が行われた。ホロコーストから現在のイスラエルとドイツとの関係性について歴史的事象と関連づけて深く解説してもらい、生徒の興味・関心を高める授業に活用できそうな内容を御教示していただいた。11月には、武蔵大学教授の桃崎有一郎氏を迎えて、歴史学の威力と魅力と題して、現在の歴史教育に関して議論を深めることができた。

来年度は、探究科目が実施3年目になる中で、総合科目と探究科目をどう接続させるかに関して、教育現場での実際の状況についても意見交換を踏まえながら、今後どのように取り組むべきか考察していきたい。

### III 授業研究

今年度は研究授業を3回行った。昨年度から「日本史探究・世界史探究」が実施されたことに伴い、各担当授業者が、歴史総合と接続させ、単元を通観する問いの開発や、観点別評価を踏まえ、ICT機器を活用した授業実践等、多岐にわたる授業実践を行った。歴史総合との接続が不十分であったり、指導と評価の一体化にむけた授業にならなかつたりと様々な課題は見えたものの、新しい科目構成となり、歴史教育が大きく転換する形となった今、多くの先生方と一緒に授業の在り方について意見交流できたことは大きな成果といえる。

### IV 大学入試問題検討委員会

大学入試問題検討委員会は、日本史部会と世界史部会に分かれて活動している。毎年発刊される入試問題をメンバーで分担して研究し、高等学校における標準的な学習内容に照らし合わせて適切な出題がなされているかどうかを、高校教員の立場から分析している。8月に「進学指導研究会」という形式で、詳細な活動報告を実施できるよう工夫している。今後は新学習指導要領に基づいた新たなタイプの入試問題が増えることが予想されるため、本委員会の存在意義はますます大きなものになると考える。

## V 教科指導法研修

教科指導法研修では、歴史教育における教材開発や博学連携など外部機関との連携を図り、授業力向上並びに、生徒の新たな学びの場を創出することを目的としている。今回、東京都公文書館にて、国立歴史民俗博物館の特任教授、大井将生氏をお招きし、教材開発を目的とした研修を実施した。今回の研修に関しては、東京都公文書館での資料活用方法や、国立国会図書館のプラットフォーム「JAPAN SEARCH」を活用した教材開発の方法を分かりやすく学ぶことができた。また、東京都立大泉高等学校の生徒による「JAPAN SEARCH」を活用した総合的な探究の発表は、どれも高度な発表ばかりで大変興味深かった。新学習指導要領では、授業において史・資料の活用が非常に重要なため、この研修から新たな知見を広げることができた。

## VI 史跡見学

今年度の史跡見学は、11月17日（日）に「板橋宿とその周辺をめぐる」～江戸四宿を訪ねて 第3弾～をテーマに実施された。午前は、板橋宿をテーマとして、板橋と前田家の関りなどを詳しく学ぶことができた。また、旧中山道を歩きながら、松平定信ゆかりの日曜寺をはじめとして、近藤勇の墓を見ることができた。午後には、東京第二陸軍造兵廠など近代軍都・工都として板橋及び十条を巡り陸上自衛隊十条駐屯地に特別に見学するだけでなく貴重な解説をしていただき、生徒の興味・関心を高める有益な教材を手にすることができた。来年の3月は、新宿周辺の内藤新宿を巡る史跡見学となっており、こちらも、普段なかなか見ることができない資料を活用した深い学びの実践につながるよう進めていく。

## VII 成果とまとめ

世界史探究・日本史探究が本格的に始まる中で、歴史総合とどう接続していくかについて、先進的な取り組みを紹介しつつ、1年間の活動を通して、各会員の来年度に向けた取り組みを基に議論を深め、SNS等を通じて積極的に情報発信を行い、歴史教育の発展に寄与することができた。

今年は、総会後の講演会にて対面とオンラインとのハイブリッド形式でより多くの参加していただく環境を整えた。

課題として、オンライン等をさらに活用しながら、様々な状況下でも実施できるよう取り組みを進めているが、まだまだ運用が十分にできていないため、今後ノウハウの蓄積を増やしていく。

以上を踏まえ、新学習指導要領に基づいて授業実践を進めて授業改善に取り組む東京都の地理歴史科の教員の一助となれるよう今後とも研鑽を深めていきたい。

### <連絡先>

団体名		東京都歴史教育研究会
代表者	所属	東京都立葛西南高等学校
	職氏名	校長 関山 勝之
	連絡先	03-3687-4491
事務局	所属	東京都立武蔵野北学校
	職氏名	主任教諭 細川 貴之
	連絡先	0422-55-2071